

# 進路通信

兵庫県立北須磨高等学校 進路指導部

## 【基礎力を土台に実践力を】

10月～12月は「実践力養成期」です。基礎力が確実に身についたことを前提に、さらに学力を伸ばすのがこの2か月です。入試では難問が出題される、と考えるかもしれませんがそれは稀です。北須磨高校では毎年、関関同立の4大学の担当者に来てもらって説明会を開催しています(19号で紹介)が、どの大学も「出題される問題のうち60～70%は受験生の半数が正解できる。基礎・基本をどれだけ着実に解ききるかどうかが合否が決まる」と言います。基礎・基本をおろそかにせず、その上で「実践力」を養いましょう。

今日明日は模試、来週は中間考査です。基礎・基本は学校での授業から。授業が進行中の科目もあります。そのような科目では、中間考査対策がそのまま受験対策となります。あと回しにしておいて、まとめてやり直す時間的余裕はありません。他科目も同様、まずは授業の1時間1時間を大切にしましょう。

## 【学力の伸びと大学合格】

右の表は過去7年、神戸大学に合格した生徒の共通テストの得点(900点)を示したものです。一般に神戸大クラスでは8割(720点)の得点が必要と考えられていますが、必ずしもそうではなく、600点台から合格者がいることがわかります。

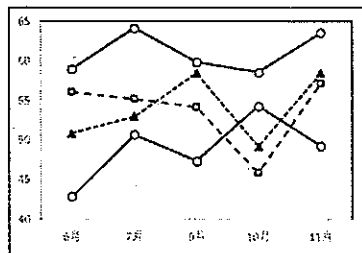
また、下の表は48回生のマーク模試と共通テストの平均点の推移です。各模試の間で平均点は上昇し続け、6月と共通テストでは92点の差がつかしました。(ただし、この学年の共通テストは難しかったので、前年に比べて平均点が50点近く低下しました。例年、6月一斉テでは150点くらい平均点は伸びています。)この平均点推移でも上昇の仕方は一様ではありません。一般には6～9月、11月一斉テでの伸びが大きく、例年9月～11月は伸び悩みます。(下のグラフも見てください)

ここであきらめて方向転換すると、ダメな方向にずるずると落ち込んでしまいます。ほとんどの人はしっかり踏ん張って、その後の伸びにつなげていきます。

| 6月    | 9月    | 11月   | 共テ    |
|-------|-------|-------|-------|
| 449.2 | 513.0 | 532.4 | 542.1 |

| 総得点     | 合格 |
|---------|----|
| 800～    | 1  |
| 750～800 | 10 |
| 700～750 | 10 |
| 650～700 | 8  |
| 600～650 | 5  |

個人の成績もこれと同じ傾向をたどって上昇していきますから、今から共通テストまでには5教科で60～70点ぐらい伸びるのが現役生です。この結果を元に、9月のマーク模試では40点アップを目指すよう、7月の進路通信で呼びかけました。2つの表を比較すると、今、マーク模試で500点台の人も神戸大学に合格する可能性があることになります。もちろん、個別試験への対策も十分におこななければなりません。



成績は常に上下し、気持ちもそれにつれて高揚したり落ち込んだりを繰り返します。模試成績の推移例グラフを再掲します。(第18号「成績はどのようにあがるか」)一時の成績にとらわれず、本当の自分の志望を貫く心の強さを養いましょう。

## 【プレテスト幹旋について】

河合塾の全統プレ共通テストの幹旋をします。(6,200円または7,300円)進路指導室前に用紙があります。希望者は10月25日15:00までに各自でWebから。なお、Kバックを用いての校内でのプレテストは12月に実施します。



United Nations  
Educational, Scientific and  
Cultural Organization

Member of



UNESCO  
Associated  
Schools

